

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 25 (年2回発行)

■発行 三春まちづくり協会

■編集 三春まちづくり協会広報委員会

三春まちづくり協会

「土地利用部会」から

「地域部会」へ！

テーマは「地域の価値発見」

三春まちづくり協会は、平成十四年度から大幅な規約改正を行い、組織も新しくなります。土地利用部会は新しく「地域部会」として生まれ変わりますが、すでに昨年度から地域の価値を発見する活動に取り組んでいます。

土地利用部会の活動を追ってみました。

土地利用部会の平成十二年度の事業として、「おもしろマップ」作成があります。

「まちづくりの実践」まちづくりの発想...2冊のテキストで勉強会



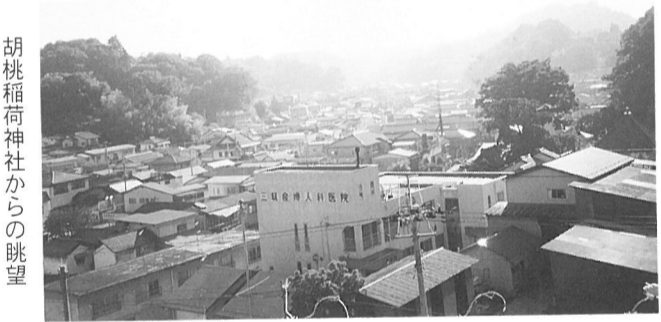
これは継続事業として、三年計画で進めるものですが、その活動方針には次のように書かれています。

人の住むところに価値のないところはない。「まちづくり」の実践は、地域の価値を見つけ、正しく評価するところから始めてみてはどうだろうか。

慣れてしまうと、あんがいに自分の住むところの価値には気がつかないこともある。「まち」のウォッチングをして、自分たちの地域を知ることから始めたい。見つけたものすべて地図に書き出す。こんな作業のなかで、地域の価値を知ったり、見つけたら、また問題点を指摘してみる。ふだんは漠然としていたものが、改めて見ると、なかなか良いものだと思えることも多いと思う。こうした活動から、部会の活動の在り方を探りたい。自分たちの地域を知ること、このことは「まちづくり」の実践の第一歩である。

こうした方針に沿って、風土的価値（気象、自然など）、歴史的価値（遺産、事件、物語、記憶など）人の営み価値（物、仕事、生活、仕組み、イベントなど）の三つの方向から地域の価値を発見していく活動が始まっています。

風土的価値については、すでに字ごとにまとめたものができています。



胡桃稻荷神社からの眺望



桜川沿いの風景

例えば八幡町の場合は、胡桃稻荷からお城山を臨む眺め、八幡神社の参道（桜並木）、三春大神宮から法華寺までの桜川沿いの風景、桜川を泳ぐカルガモ、数々のお稲荷様とお地藏様などがリストアップされました。今年度も七月末に「文学碑めぐり」を実施するなど、土地利用部会による「地域の価値発見」の動きはますます活発になっていきそうです。



八幡神社参道

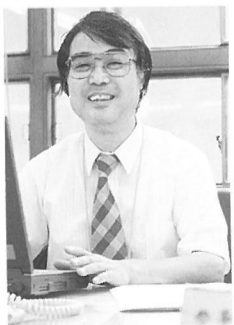
まちづくり協会全体としても、普段なにげなく見過ごしてしまいがちな地域の良さを発見することから「まちづくり」をすすめていきたいと考えています。

※撮影 佐久間秀男さん (土地利用部会)

ヨソモノ扱いしない町

三春町参事

森澤 茂



役場ではたらくようになって三ヶ月がすぎました。このごろになって、赴任する前夜、一睡もできずに役場へむかっただけが夢だったのではないかと、思うことがありますが、心配していたことは、なにひとつ起こらず、ながい時間がたつたからです。心配は、突然あらわれたヨソモノを受け入れてくれるだろうか、ということでした。

しかし、役場の職員も町のひとたちもみなあたたくく、ヨソモノ扱いされずすんだのです。最近、町のひとに会いまして「もう慣れましたか」とよくきかれます。そんなとき、大きな声で「はい」とこたえられるしあわせをかみしめています。わたしは、役目柄スピーチをすることが多いのですが、忘れたいスピーチがふたつあります。ひとつは、込木で「三春の感想を」と請われて語ったときのことです。ひとのあたたかさ、あいさつを交わすたのしさ、こ

とばのふかさ、景色のうつくしさ、空気と食べ物のおいしさ、などを話しておりましたが、そのうちに込木のひとたちの表情がなごやかに、とてもいきいきしていくのに気づいて、のせられるように、しだいに熱おびて話したのでした。おしまいに「わたしのふるさと能代と三春は、秋田氏というおなじ殿様をいだいたという歴史的な縁があるのですから、どうか何百年もおくれてやってきたみなさんの親戚だと思ってかわいがってください」といいましたところ、町長が「お殿様としてお迎えできなかつたのは残念」とおっしゃって、満場爆笑のうちには話おえることができたのでした。もうひとつは、先日、三春まちづくり協会の部会長会議でのスピーチです。「地元学」(地元を学ぶ)という考えを採り入れて協会の活性化をはかったら、いかがでしょう、と提案したところ、すでに田母野先生を中心に実行されていて「地元学」ということばがなかっただけということを知って、さすが三春、と感心したものです。地元学では、よそから来たひとを「風のひと」と呼び、地元のひとを「土のひと」と呼びます。風と土のみなさんが和して、あたらしい風土が生まれる一歩がふみだせればと、たのしい想像をめぐらしています。



今年度、青少年健全育成活動を推進する生活部会では、現在までに三春中学生との交流会、横丈六の七夕祭りへの参加という二つの活動を行っています。

三春中学生との交流会

三春町の中学生はどんなことを考えているのだろうかということから六月二十八日に三春中学校を訪問しました。

出席者は中学生が七名、先生が五名、生活部会から十名でした。

自己紹介のあと、中学生と四つのテーマについて話し合いました。

●中学生で楽しいこと

- ・秋に行われる文化祭
- ・部活動

・友達との雑談

●中学生生活で求めるもの、施設で改善してほしい所

- ・校庭が狭いので広くしてほしい
- ・体育館の屋根を直してほしい
- ・教室のドアや窓を取り替えて欲しい
- ・トイレの水量が少ないので何とかしてほしい

●三春町のよいところ

- ・お寺、神社がたくさん

交流会に参加して

先日の対話で大人と中学生との考え方の違いの大きさを改めて考え、私達では見つけることのできなかつた問題点を見つることができました。また、問題点として話し合っていたことも、ポスターをはったり、呼びかけをしたり、対策と



三春中学生会長 増子 彩

して考えてきたことを実行することができました。私達生徒会としても、今後も改善を続けていきたいと思っています。また機会があれば町の人と三春中生との話し合いをもち意見交換ができればいいと思います。

●三春町へ望むこと

- ・公園にある遊具がこわれていて修理が必要
- ・ごみのポイ捨てが多いので、看板を多く設置してほしい。

●あいさつについて

- ・友達同士のあいさつをしているか
- ・大人もあいさつしない人も多い
- ・町全体であいさつ出来るようになると良い

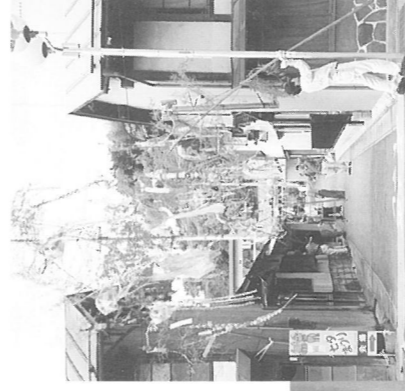
これを機会に中学生との交流会を何度かもちたいと考えています。

あしせつしよう!



生活部会と中学生の交流会より

- ・あつて雰囲気がいい
- ・職人がいること
- ・緑の自然があるところ
- ・八島川が汚れていないところ
- ・優しい大人がたくさんいること



今年二十一年続いているみどりの子供会と七夕実行委員会の開催する横丈六の七夕祭りに参加しました。六月二十三日三春町中央公民館に生活部会のメンバーが集まり、花がご、吹流しなどの飾

りを作成しました。汗を流しながらの作業でしたが、

盛会・・・七夕祭りへの参加

生活部会では活動の一環として活発な活動を続けている子供会を応援しています。

くすだまの花を作るとき一瞬にして紙を折りたたむ「花子さん」という秘密兵器の登場もありたくさんの飾りを作ることができました。

祭りの初日の七月一日に生活部会と子供会の会員と実行委員会の



会員で飾りつけをしました。夕方には横丈六の通りに二十五本の七夕飾りが並びました。いつもより盛会ということで地域の人たちに喜ばれました。これからも生活部会では各地で活動している子供会に協力していく予定です。

交流会・七夕祭りの二つとも初めての活動で段取りがなかなか思うようではありませんでしたが、この経験を生かして活動を続けていきたいと思っています。

▼平成十四年から新規約に



五月十七日、平成十三年度「三春まちづくり協会」の総会が大森ホールで開かれました。各部会の活動報告、収支決算のほか、次年度から「規約・部会運営要綱」を見直し、新規約にすることで、より活動しやすくなることが決まりました。

▼クリーンアップ作戦 1583名参加



「三春まちづくり協会」の全体事業のひとつが「クリーンアップ作戦・清掃作業」の実施です。七月一日、桜川、八島川、国道288号の側溝などの草刈りやごみ拾いなどに町民1583名が参加して行われました。キレイになった桜川にカルガモの姿が見られました。

▼十基になった「町名石柱」

街並部会では平成十二年度に「町名石柱」を三基設置し、合計で次の十カ所になりました。

- お城坂 桜谷
- 化粧坂 道場町
- 御免町 丈六
- 亀井 烏帽子石
- 弓町 小浜海道

石柱には、それぞれ町名の説明が記されています。石柱を探しながら、運動をかねて歩いてみませんか。

編集後記

◆中心市街をはじめとして町内の変貌は著しい。商店や土蔵が取り壊され、駐車場になるところもあれば、磐州通りのように新しく生まれ変わったところもある。

三春まちづくり協会も十四年度からの規約改正に伴い、各部会は活動の見直し、新事業の掘り起こしが始まった。広報委員会も、この機会にこの「三春わが街」を年二回発行して活動をお知らせすることにしました。(中村)

◆訂正◆

第二十四号(十二年十一月発行)の「まちづくり協会歴代会長」に次の二名の方の記載がありませんでしたので追加訂正いたします。

- 佐藤 隆(昭和57)
- 佐久間 悠(昭和58)

コミュニケーションだより
「三春わが街」第二十五号
 発行日 平成十三年八月一日
 発行 三春まちづくり協会
 編集 三春まちづくり協会
 広報委員会
 三春町字大町一七八
 (六二)三九八八